

平成 30 年度
行政評価諮問事務事業に係る答申書

平成 30 年 11 月
愛南町行政評価委員会

目 次

<u>1 審議経過</u>	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1 - ~ - 2 -
(1) 評価した事務事業	・・・・・・・・	- 1 -
(2) 評価の手順	・・・・・・・・	- 1 - ~ - 2 -
(3) 会議の内容	・・・・・・・・	- 2 -
<u>2 当委員会の評価</u>	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 3 - ~ - 10 -
(1) 評価の観点	・・・・・・・・	- 3 -
(2) 評価の種別	・・・・・・・・	- 3 -
(3) 評価の方法	・・・・・・・・	- 3 -
(4) 評価の決定	・・・・・・・・	- 4 - ~ - 10 -
<u>3 委員会委員名簿</u>	・・・・・・・・・・・・・・・・	- 11 -

1 審議経過

(1) 評価した事務事業

次の6つの事務事業について評価しました。

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	高齢者福祉の充実
	基本計画	基本事業	生きがい活動の推進
	事務事業		老人クラブ活動助成事業
担当課		高齢者支援課	
2	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	政策の総合推進
	基本計画	基本事業	施策の総合推進
	事務事業		ボランティア連絡会活動補助事業
担当課		保健福祉課	
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	農林業の振興
	基本計画	基本事業	農畜産物の高付加価値化の推進
	事務事業		青果市場運営事業
担当課		農林課	
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	防災・減災対策の推進
	基本計画	基本事業	自主防災体制の確立
	事務事業		災害時要配慮者支援事業
担当課		防災対策課	
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	学校教育の充実
	基本計画	基本事業	心の教育の充実
	事務事業		心の教育推進事業
担当課		学校教育課	
6	地域再生計画		豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり計画
	交付金		地方創生道整備推進交付金
	担当課		建設課・農林課

(2) 評価の手順

- ① 事務事業担当課による内部評価を経た事業マネジメントシート(事後評価)及び附属資料により事業説明を受け、質疑応答を行いました。
- ② 行政評価シート(本書巻末に【資料】として添付)により各委員の評価を

取りまとめ意見集約を行い、討議の上、当委員会の評価を決定しました。

(3) 会議の内容

次の3回の会議を開催しました。

回数	日時・場所	主な審議内容
第1回	平成30年9月28日(金) 13:30~17:10 本庁 2階 第1会議室	<ul style="list-style-type: none">・ 諮問・ 事務事業の説明及び質疑応答(その1)・ 質問事項及び追加要求資料の取りまとめ
第2回	平成30年10月19日(金) 13:30~16:30 本庁 2階 第1会議室	<ul style="list-style-type: none">・ 事務事業の説明及び質疑応答(その2)・ 事務事業の評価の準備
第3回	平成30年11月7日(水) 13:30~16:00 本庁 2階 第1会議室	<ul style="list-style-type: none">・ 事務事業の評価の取りまとめ及び意見集約・ 事務事業の評価の決定・ 答申書(案)の確認
答申	平成30年11月21日(水) 町長室	<ul style="list-style-type: none">・ 答申

2 当委員会の評価

(1) 評価の観点

次の観点により評価しました。

観点	意味
妥当性	・ 上位の施策・基本事業成果指標の向上に貢献しているか(上位成果への貢献) ・ 税金を投入して行うべきか(公的関与の妥当性)
有効性	・ 意図に対して手段が有効か(成果状況) ・ 成果が向上する余地があるか(成果向上余地)
効率性	・ 現在の手段をもっと安価に実施できないか(効率化余地1) ・ 他の手段で事業を実施できないか(効率化余地2)

(2) 評価の種別

次の種別により評価しました。

種別		意味
維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
見直し	改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	拡充	予算や人員などのコストの投入を拡充し、より大きな成果を上げることをめざす。
	縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する
	事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
休止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
廃止		事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

(3) 評価の方法

評価に当たっては、各委員による「(1) 評価の観点」の「妥当性」、「有効性」及び「効率性」の評価を集計し(10名の委員がそれぞれの項目に対して1票ずつ投票)、「意見・提言」とともに討議の参考としました。最終的に当委員会の評価は、「(2) 評価の種別」から選択し、また、それへの解説を加えて決定としました。

(4) 評価の決定

次のとおり当委員会の評価を決定しました。

① 評価の一覧

事業			評価の種別	
1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり	見直し／改善
		施策	高齢者福祉の充実	
	基本計画	基本事業	生きがい活動の推進	
	事務事業		老人クラブ活動助成事業	
	担当課		高齢者支援課	
2	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり	維持／このまま継続
		施策	政策の総合推進	
	基本計画	基本事業	施策の総合推進	
	事務事業		ボランティア連絡会活動補助事業	
	担当課		保健福祉課	
3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり	廃止
		施策	農林業の振興	
	基本計画	基本事業	農畜産物の高付加価値化の推進	
	事務事業		青果市場運営事業	
	担当課		農林課	
4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり	見直し／改善
		施策	防災・減災対策の推進	
	基本計画	基本事業	自主防災体制の確立	
	事務事業		災害時要配慮者支援事業	
	担当課		防災対策課	
5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり	維持／このまま継続
		施策	学校教育の充実	
	基本計画	基本事業	心の教育の充実	
	事務事業		心の教育推進事業	
	担当課		学校教育課	
6	地域再生計画		豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり計画	維持／このまま継続
	交付金		地方創生道整備推進交付金	
	担当課		建設課・農林課	

② 評価の詳細

(- 5 - ～ - 10 - のとおり)

1	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり
		施策	高齢者福祉の充実
	基本計画	基本事業	生きがい活動の推進
	事務事業		老人クラブ活動助成事業
	担当課		高齢者支援課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	2票	8票		
有効性	1票	7票	2票	
効率性	1票	2票	5票	
計	4票	17票	7票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、小学校のイベントなども助けてくれて、交流もできるので、楽しいし助かっている。これからも頑張ってもらいたい。 ・ 小学校の見守り隊などの活動を期待している。 ・ 「地域力を育てる」ことに貢献していると思う。 ・ 一人暮らしの高齢者が増えているので、コミュニケーションの場として一人でも多くクラブに参加し、生き生きと過ごしてもらいたい。 ・ クラブ加入率、会員数が減少している中、入会するかどうかに関係なく「声掛け」は大切だと思う。 ・ クラブ組織の維持と魅力化については、会員の確保と合わせて重要な問題である。 ・ クラブ組織の役割として、社会貢献活動を考える時期に来ているのではないかと思う。 ・ 活動状況の差が見られる。単位クラブの楽しく充実した活動事例を連合会などの場で発表すれば、刺激を与えたり手本となる可能性もある。 ・ 「活動」に対して「助成」するのが妥当ではないか。 ・ 目立った活動がないことが原因と考えられる繰越金があるクラブや、会計規模に対して多額の繰越金があるクラブがあり、是正が必要と考える。 ・ 活動内容に格差があるので、助成金の配分方法を検討すべきではないか。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／改善	高齢者が生きがいや役割を持ち続け、支え合いの中で自立して暮らせる地域社会づくりの一環として重要な事業であるが、妥当性、有効性及び効率性を一層高めるため、地域貢献を始めとする活動促進を念頭に置いた単位クラブへの助成金分配方法の見直し・改善を行っていただきたい。（基準の設定）

2	基本構想	政策	支えあい健やかに暮らせるまちづくり	
		施策	政策の総合推進	
	基本計画	基本事業	施策の総合推進	
		事務事業		ボランティア連絡会活動補助事業
		担当課		保健福祉課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	3票	7票		
有効性	1票	8票	1票	
効率性	2票	4票	3票	
計	6票	19票	4票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・活動の実績は素晴らしいと思う。継続してほしい。 ・各ボランティア連絡会会員の活動は盛んに行われており、必要な補助事業と思われる。 ・活動の輪を広げてほしい。 ・活動拠点である「プラザじょうへん」の老朽化（耐震基準不適合）が懸念されており、近々に施設の移転について考えていく必要がある。 ・なるべく早く安心安全な施設での運営を望む。 ・ボランティア活動は今後も重要であると思う。行政はボランティア団体のよき相談相手になって、活動拠点の移転についても積極的に推進してほしい。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	地域に根ざしたボランティア活動への行政支援事業として妥当性、有効性及び効率性が高い事業であり、更なる活動ネットワークの拡充と懸案である安全な建物への活動拠点の移転について、活動主体と連携、協働し推進していただきたい。

3	基本構想	政策	活力ある産業を育てるまちづくり
		施策	農林業の振興
	基本計画	基本事業	農畜産物の高付加価値化の推進
	事務事業		青果市場運営事業
	担当課		農林課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性		2票	3票	5票
有効性		1票	3票	6票
効率性		2票	4票	4票
計	0票	5票	10票	15票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・経営を立て直すなら、町、農協、市場、生産者を含めての経営戦略を入念に練るべきだと思う。 ・取扱量、販売額が下降している。市場を継続していくためには、経費削減と新しい対策を考える必要がある。 ・とにかく、生産者の数を増やし市場の取り扱い規模を大幅に増やさないことには、継続していくのは難しいのではないか。 ・赤字決算確実かつ市場の建て替えコストを考えると、思い切って市場の閉鎖の検討を進めるべきではないか。ただし、生産者へはしっかり説明し、新たな取引先を提案するなど誠実な対応を。 ・地域の農業発展のため長きにわたり運営されてきた市場ではあるが、現状のままでは継続が困難な時期に来ていると判断する。売り上げ実績が著しく低く費用対効果の面からも非効率であり、また、施設耐用年数が経過し老朽化が著しく耐震の問題も未対策であることから、生産者、仲買人、従業員への配慮を行った上で廃止することが妥当と考える。
--

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
廃止	平成24年度の当委員会において「廃止」と方針が出されて以後も毎年損失補填が必要な経営状況と老朽化した建物改修を含む経営改善の計画もない状況下においては、本事業を廃止と評価する。ただし、関係する生産者、仲買人及び従業員への配慮は必要であると考えられる。

4	基本構想	政策	自立と協働による安心安全なまちづくり
		施策	防災・減災対策の推進
	基本計画	基本事業	自主防災体制の確立
	事務事業		災害時要配慮者支援事業
	担当課		防災対策課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	4票	6票		
有効性	3票	7票		
効率性	1票	7票	2票	
計	8票	20票	2票	0票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるかわからない災害への備えとして、非常に有効かつ重要な仕組みである。 ・避難行動要支援名簿、避難行動要支援者台帳及び避難支援プラン個別計画の整備を早急に行い、災害時には行政と自主防災組織等が連携し、支援活動がスムーズに行われるような仕組みを構築する必要がある。 ・ネックとなるのは個人情報の取り扱いであるが、地域住民による台帳の実行性と実効性を高めるため、できるだけ多くの方が運用できるような仕組みとしてほしい。 ・台帳の更新や要支援者の情報提供については、地域の実状を一番把握している地域住民が担うような仕組みとすべきである。 ・台帳を自主防災組織等に実装し避難訓練をすることで、地域の防災意識と防災力が高まると思う。 ・一連の台帳作成に当たっては、関係課と連携し、また、地域住民の意見や提言も積極的に取り入れながら地域との連携を強化しつつ、効率的な業務手順や方策を適時執り行っていくべきである。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
見直し／改善	災害に対する喫緊の備えとして妥当性が高く重要な事業であるが、有効性及び効率性が低いことから、関係課、自主防災組織（地区）、消防団、民生児童委員等の関係者と連携し、実践を考慮した抜本的な制度の見直し・改善を行っていただきたい。

5	基本構想	政策	豊かな心と文化を育むためのひとづくり
		施策	学校教育の充実
	基本計画	基本事業	心の教育の充実
	事務事業		心の教育推進事業
	担当課		学校教育課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	5票	5票		
有効性	2票	8票		
効率性	3票	4票	2票	1票
計	10票	17票	2票	1票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへのアプローチや対応状況は、適切であると考えている。関係機関と連携して、一人でも多くの子どもたちへ救いの手を差し伸べてほしい。 ・居場所の選択肢が増えることは、様々なケースに対応する上でとても重要だと考える。 ・いじめは子どもだけでは解決できない難しい問題で、その後の人生にも大きな影響を与えてしまうため、安心して相談できる環境が必要である。 ・学校現場教育者のスキルアップを望む。教育現場本来の教育力で対応してほしい。 ・いじめや不登校が起こった後の対応策だけでなく、起こらないようにする予防策を重点的に講ずるべき。 ・学校、家庭、それぞれの環境下での子どもの状況や小さな異変を共有し、いじめや不登校を予防するために、学校と家庭の更なる連携が必要である。 ・子育ては家庭が基本であるが、子育てに自信が持てない保護者もいるので、教育のプロである教職員からのアドバイスが受けられるような仕組みがほしい。 ・母親が妊婦の時から子育てを学ぶことができる仕組みづくりが必要ではないか。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	いじめ・不登校等への対応環境整備事業として妥当性、有効性及び効率性が高い事業であり、学校教育現場における更なる教育力の向上と予防策を含め、複雑・多様化する問題への迅速かつ適切な対応を講じる手段の不断の見直しを推進していただきたい。

6	地域再生計画	豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり計画
	交付金	地方創生道整備推進交付金
	担当課	建設課・農林課

1 評価の観点

項目	高い	どちらかと言えば高い	どちらかと言えば低い	低い
妥当性	4票	6票		
有効性	3票	7票		
効率性	2票	6票	1票	1票
計	9票	19票	1票	1票

2 意見・提言

<ul style="list-style-type: none"> ・道がよくなることで「愛南町に住みたい」と思う人が増えてほしい。 ・住民がずっと住み続けたいと思えるような町にするための取り組みの一つとして推進すべき。 ・利便性の向上のみならず、災害に対する備えという観点からも有効な事業であり、継続すべきである。 ・道路整備については、路線ごとに地域等からの要望を受け事業化するパターンが多いと思われるが、財政難の折、費用対効果の観点を踏まえた精査を経た上での事業化とすべきと考える。 ・景観や自然環境に配慮した工事としてほしい。

3 当委員会の評価

評価の種別	解説
維持／このまま継続	住民の利便性に加え道路の代替性、多重性の確保による安全性の向上及び山間部に点在する集落の活性化を目指す事業として妥当性、有効性及び効率性が高い事業であり、計画どおり推進することにより成果の向上を図っていただきたい。

3 委員会委員名簿

番号	職務	氏名	住所
1	委員長	太田 英和	愛南町城辺甲
2	副委員長	兵頭 堅次	愛南町須ノ川
3	委員	砂田 陽子	愛南町御荘長月
4	委員	竹平 満之	愛南町御荘長月
5	委員	大下 真紀	愛南町城辺甲
6	委員	岩見 絹	愛南町城辺甲
7	委員	門田 真美	愛南町緑乙
8	委員	山川 美和	愛南町福浦
9	委員	松田 恵子	愛南町福浦
10	委員	澤本 陽一	愛南町緑乙

【資料】

行政評価シート

基本構想	政策 施策	
基本計画	基本事業	
事務事業		
担当課		

1 妥当性

- ①上位の施策・基本事業成果指標の向上に貢献しているか(上位成果への貢献)
 ②税金を投入して行うべきか(公的関与の妥当性)

高い
 どちらかと言えば高い
 どちらかと言えば低い
 低い

コメント

2 有効性

- ①意図に対して手段が有効か(成果状況)
 ②成果が向上する余地があるか(成果向上余地)

高い
 どちらかと言えば高い
 どちらかと言えば低い
 低い

コメント

3 効率性

- ①現在の手段をもっと安価に実施できないか(効率化余地1)
 ②他の手段で事業を実施できないか(効率化余地2)

高い
 どちらかと言えば高い
 どちらかと言えば低い
 低い

コメント

4 意見・提言

5 評価

1 維持	<input type="checkbox"/> このまま継続
2 見直し	<input type="checkbox"/> (1) 改善 <input type="checkbox"/> (2) 拡充 <input type="checkbox"/> (3) 縮小 <input type="checkbox"/> (4) 事業統合
3 休止	<input type="checkbox"/> 休止
4 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止

* 評価の種別については裏面を参照

評価の種別		評価の意味
1 維持	このまま継続	妥当性、有効性及び効率性に問題がないため、今年度の進捗状況をにらみながら昨年度と同様に実施する。
2 見直し	(1) 改善	手段を見直すことにより、成果の向上やコストの削減をめざす。
	(2) 拡充	予算や人員などのコストの投入を拡充し、より大きな成果を上げることをめざす。
	(3) 縮小	予算や人員などのコストの投入を制限し、事業規模を縮小する。
	(4) 事業統合	他の事業と統合し、効率的な事業実施をめざす。
3 休止	休止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、一時的に事業を休止する。
4 廃止	廃止	事業目的を達成した、または成果向上の余地がないなどの理由により、事業を廃止する。

